

令和7年度市民懇談会におけるご意見・ご要望の取りまとめ

市民懇談会において、みなさまから頂きました市政に対するご意見、ご要望について、現在行政で取組を進めている事項を担当課にヒアリングしましたので、以下のとおりご紹介いたします。

項目	ご意見・ご要望	担当課ヒアリングによる現在の取組状況について
生駒のつながり 防災×コミュニティ	外国人に有事のときの伝え方はどうするのか。	情報の受け手側で、市のホームページの自動翻訳機能や観光庁の外国人旅行者向け災害時情報提供アプリ「Safety tips」を活用いただいています。
	障がい者の方のお手伝いが出来ないだろうか。	地域の見守り体制の中で、避難支援員を選び、ご協力いただける仕組みがあります。
	地震は事前避難できないが、豪雨はできる。避難所で何日間か過ごせるような備えがどれくらいあるか。	想定される地震の最大の罹災者数（約32,000人）に必要な1日分（3食分）の食料は備蓄しています。それ以降は外部支援によって対応しているので、自助での備えもお願いしたいと考えます。
	避難所は、段ボールベッドなどどうなっているか。	令和7年度に500台購入、令和8年度に500台購入予定で合計1,000台を購入し、令和7年度と8年度にかけて、市内の全小中学校に新たに防災倉庫を設置し備蓄を進めています。
	防災スピーカーが聞こえない。	聞こえにくいという認識はありますが、あくまで防災スピーカーは注意喚起であり、市としては全ての方に全ての情報を防災スピーカーから取得していただけるものとは考えていません。市の公式LINEや「緊急速報メール」などの他の媒体も併せて総合的に情報の発信をしています。
	防災マップの最新版が欲しい。	紙ベースの総合防災マップは、2023年保存版が最新で全戸配布をしています。しかし、毎年県において土砂災害警戒区域などが一部追加指定されており、その内容は市のホームページのWeb版ハザードマップに反映していますので、ご確認ください。
	浸水想定区域の看板が4年以上変わっていない。上からシールを貼るなどの対応を早くできないのか。	市内の電柱に設置している浸水想定区域の看板は、令和6年度と7年度に最新データに基づき設置しています。
市政全般	路線バスにもっと乗ることで活路は見いだせるのか。	路線バスは、通勤・通学や高齢者の移動手段として欠かせない公共交通であり、地域の暮らしを支える重要なインフラです。しかし、今後も安定的に運行を継続していくためには、赤字の縮小が避けて通れず、そのためには市民のみならず、できる限りバスをご利用いただくことが最も効果的な改善策となります。こうした状況をふまえ、今後、地域の集まりに職員が伺い、現状を丁寧に説明するとともにバス利用を呼び掛ける取組を進めてまいります。
	史跡を大事にしていない。宝山寺の鳥居の注連縄は後継者がいないのでしていないし、宝山寺旧参道入口のおばけ灯籠は倒壊したまま修繕もしていないので、今後どうなるのか。伝統に関心を持ってほしい。	おばけ灯籠が倒れたことを知り確認したところ、文化財には該当しておらず、また、所有者がいないことや道路管理者の立場から障害物を建てることは好ましくないなど、総合的に判断して復旧を断念しました。ただ、おばけ灯籠が存在したという由来が分かるような立て看板を設置することは、地元自治会との協議が成立しています。

また、以下のご意見、ご要望につきましては、行政にお伝えするとともに、今後の議会活動に活かすべく、全議員に周知いたしました。

項目	ご意見・ご要望
<p>生駒のつながり 防災×コミュニティ</p>	<p>災害時も含め、日頃の近所付き合いや人のつながりが重要だと実感。</p>
	<p>挨拶以上の深い相談ができる関係性の欠如。</p>
	<p>コロナ時にコミュニティが希薄になった。</p>
	<p>仕事をしていて一人暮らしだと近所づきあいが無い。</p>
	<p>一人暮らしなので災害時に何かあったら心配。近所と積極的につながる。</p>
	<p>マンションなどの集合住宅では隣近所の付き合いがほとんどなく、管理人との接点のみに留まっている。</p>
	<p>「挨拶」や「広報紙の配布」を安否確認の機会として捉え直す必要性。一方で、過度な見守りがプライバシーの侵害と感じられる懸念（集合住宅など）</p>
	<p>自治会・近所の方との連携が大切。</p>
	<p>地域コミュニティの力を発揮するには、地域が元気でなければならない。</p>
	<p>自分たちの置かれている環境を普段から確認しておくことが大切。</p>
	<p>個人情報の問題もあり、一人暮らしの高齢者の安否確認が難しい。</p>
	<p>高齢者、障がい者、小さい子どもさんたちなど個人情報の問題はありますがリスト作成要では、学校を中心に防災訓練しては。</p>
	<p>「誰が・誰を助けるか」を明確にした、より実効性の高い安否確認体制の構築。</p>
	<p>学校区と防災は整理も必要。学校区による結びつきのコミュニティは建物だけでなく地域活動も考えないと分断される。人のつながりが大事。</p>
<p>有事のときに特に障がい者の避難が大変である。</p>	
<p>障がい者の方を含めて多くの方が助かるためには何が必要なのでしょう。</p>	

項目	ご意見・ご要望
生駒のつながり 防災×コミュニティ	一見して分からない障がい（聴覚障がいなど）を持つ人が、災害時に周囲から気づいてもらえるかという不安。
	自分は障がい者だと見てわかる目印が必要（黄色のバンダナ）
	普段から障がい者の方に話を聞いていることが大切。
	自治会役員の中に手話ができる人を配置する必要性。市の手話講習や「あいサポーター養成講座」の活用。
	地域の活動にしても参加してもらえない。関心を持ってもらえない。今後、どうしていったらいいのかが悩み。
	コミュニケーションがなければ続かない。何気ないつながりは重要。サロンでも最初はどこの誰から、顔見知りに。
	世代の分断、考え方の違いがある。
	旧村地域と新規住宅地ではコミュニティの性質が異なり、温度差がある。
	自治会・自主防災会に入らない新入居者。
	自治会に入れない（入らせてもらえない）人も。
	自治会に入っていないマンションは、市と連絡がとれないので情報がこない。自分達（管理組会）で共助を担うことをしていかないといけない。
	マンションとしての通信手段の確保。
	マンションの中で要支援者と支援者の登録（ゴミ出しも）必要。
	マンションも停電で断水し、エレベーターが使えない。
	若い人を中心にまちを作る。
高齢者と若者とのつながりが無い（市役所1階にカフェの設営）	
子どもをみることなど、高齢者でもできることはある。	

項目	ご意見・ご要望
生駒のつながり 防災×コミュニティ	「子が親を見る」という意識の変化や核家族化により、将来的な孤立を不安視する声が多い。
	生駒市は南北に長いので、北・中・南で拠点が必要。
	防災公園があったらいい。
	地域に開かれた活動。
	連絡網の充実。
	地震や山火事の際、具体的にどう動けばよいか分からない。
	森林火災が増えており不安がある。
	震災にともなう火災が心配。
	自宅裏が崖で土砂崩れが心配。
	防災訓練など気持ちは参加したいが参加しにくい。
	防災訓練の充実のため、宿泊をともなう訓練など、より実践的な活動を通じた地域連携の強化する。
	ヨーロッパにくらべると日本は公助が弱い。どう公助を強めるのか、地方自治体として国にも要望していただきたい。国の姿勢の問題は大きい。
	能登から何を学ぶのか。公助、トイレ、ベットどれくらいできるのか。高齢化で弱まってきている。地域任せでは危ない。
	生駒市・奈良県は比較的大きな災害が少ない地域であり、その分、危機意識が低くなりがちだが、昨年の防災訓練を通じて、災害への意識が高まった実感がある。
	災害への意識は高まっているが、訓練まで必要なのか。
自治会での防災訓練で火を消す訓練をしないのか。水の消火器は臨場感がない。	
頻度高く防災訓練の実施。	

項目	ご意見・ご要望
<p>生駒のつながり 防災×コミュニティ</p>	<p>宿泊訓練で実際体験し、色々と確認できたことは大きい。ダンボールベットも組み立ててみるなど、確認することは大事。</p>
	<p>自治会の運動会にて防災訓練をとり入れてほしい。</p>
	<p>避難所はどこまでのマグニチュードを想定しているのか。つけるべきものはつけて、備えられるものは備える。</p>
	<p>災害大国なのに避難所お粗末。防災予算少ない。</p>
	<p>福祉の避難所の開設があってもいい。</p>
	<p>ペット連れ避難で、鳴き声、臭い、アレルギー（猫など）を持つ人への配慮をすることで避難所でのトラブル防止する。保護犬などは、環境変化に敏感な動物を連れての避難の難しさがある。一般の避難者とペット連れ避難者の居住区画を分ける、またはペット専用避難所の設置を希望する。</p>
	<p>避難所は遠いし坂の上り下りが大変。マンションなので自宅の方が安全。</p>
	<p>自分の身は自分で守るという自覚を持って対策しておくことが大切。</p>
	<p>住宅街を通り抜けできない構造は、後になって「災害時や利便性を考えると、抜ける道を作るべきだった」という議論が必ず出てくる。一方で、新たに造成された住宅地では、通り抜け道路があることで交通量が増え、住民が困っている例もある。通り抜けできない住宅街では現在、抜け道がなく不便という声もあり、「防災」「生活利便」「住環境」のバランスをどう取るかが課題。</p>
	<p>高齢世帯への備蓄支援として、水や食料などの重い備蓄品の管理・入れ替えに関する物理的負担の軽減。</p>
	<p>災害時、能動的な情報収集が困難な層に対する行政からの直接的な情報発信（プッシュ型情報伝達）の強化。</p>
	<p>阪神・淡路大震災の際、申請書に印鑑が必要だった例があり、災害時にそれが現実的でないことは明らか。平時から手続きの簡素化が必要。</p>
	<p>128自治会の半分が1年で交代する。日々の備えが大事。先が細くなっていく。</p>
	<p>備蓄に食料品、水、シートなど居住に必要な物も備えるべき。</p>
<p>一番困るのはトイレ。災害用トイレ買ったが高い。</p>	
<p>在宅避難への支援必要。</p>	

項目	ご意見・ご要望
生駒のつながり 防災×コミュニティ	防災の取組は先進事例を学ぶ。
	地すべりがある箇所の整備。
	地質学から学ぶセミナーの案内。
	市の防災情報をほとんどの人が知らない。市として何ができるか（しているか）
	回覧板の回覧に1週間以上かかることがあり情報の伝達が遅い（アナログ情報の課題）
	安否確認ができるツールの必要性。
	スマホを使えない高齢者や光過敏症などで持てない人への配慮が必要（デジタル化と支援）
	筆談アプリ、音声の文字化アプリ、スマートウォッチなどの緊急通知機能の普及と購入補助を要望する。
	「NET119緊急通報システム」や「FAX119」などの緊急通報の周知。
	まちづくりのときに、配送車、介護車、救急車が置ける1台はスペースとる。新アパートや戸建て作る時など。
	山火事が生駒山でおこったら市では対処できないと聞いた。防犯カメラなど山火事対策してほしい。
	マンションの浄水槽を給水拠点にする方法を検討していただきたい。近隣の方にも給水する取り決めをマンションと交わすのはいかがか。
	コミュニティのバトンの渡し手がないがどうしたらいいか。どう持続可能にしていくのか。
	自治会をやめる人が増えており、担い手不足が深刻。
自治会は仕事が多すぎ大変だというイメージ。高齢化と定年延長で担い手不足。	
ごみ集積所の清掃・管理、防犯カメラ維持費などの負担が自治会加入者のみに偏っている現状。	
自治会非加入者との公平性確保に対する強い不満。	

項目	ご意見・ご要望
生駒のつながり 防災×コミュニティ	広報紙は税金で作られているため、自治会の加入状況にかかわらず全員に平等に届けるべき。
	広報紙「いこまち」を配る負担が大きく、保管場所の確保も困難。スマホ配信のみなどの選択肢があってもよいのではないか。
	自治会費と税金の使い道の区別、加入の有無による疎外感の問題。
	高額な自治会入会金や積立金が、新住民（特に若年層）の加入の壁となっている。
	共同募金の自治会での一括徴収に対する疑問や、時代に即した方法への転換・中止を求める。
	昔からの住民と若い世代との調整の難しさが課題。
	新しい住宅地が出来たときにどの地域に入れるかが課題となる。
	生駒で若者が集える場所がない。
	隣人関係の希薄化と孤独死への不安。
	元気なうちは民生委員や地域包括支援センターとの接点が薄いため、急な異変時に誰が発見してくれるのかという不安。
	花壇整備などコミュニティづくりの活動は行われているが、使える予算が少なく限界がある。
	地蔵の管理が負担になっており、移設を検討してほしいという声もある。
空き家の所有者や連絡先が分からないケースが多い。	
市政全般	組織名や制度が頻繁に変わるため、住民にとって分かりにくい。できるだけ名称変更を控えてほしい。
	物価高対策を早く実施してほしい。
	熊問題をもっと重要視してほしい。
	クビアカツヤカミキリ対策に国の助成を使うよう力を入れてほしい。

項目	ご意見・ご要望
市政全般	桜の寿命が近づいており、害虫に数本やられ始めている。国としての取組があるのに、市の対応が遅い。
	ごみ収集の時間が早すぎる（朝7時など）ため出し遅れることがある。
	他のまちは深夜にごみ収集している。熱中症対策。
	坂道が多い地域では、高齢者がゴミ捨て場まで行くこと自体が負担になっている。
	給付金やクーポン事業における所得制限・配布方法など、各種施策における公平性の確保。
	生きいきクーポンの金額引き下げは、物価高騰の折から止めてほしい。
	生きいきクーポンなどの対象年齢引き上げや交通費助成の変更について、当事者への十分な説明と納得感のある進め方を求める。
	生きいきクーポンは、高齢者の外出や通院のタクシーなどに必要。
	生きいきクーポンが使いにくくなった。
	生きいきクーポンの維持。
	シェアライドなど買い物難民対策をしてほしい。市から補助してほしい。
	デフリンピックへの関心を高め、デフアスリートを応援する機運（サインエールなど）の醸成。
	自然が売りの生駒での開発には疑問。
	公園が死んでいる。年配者に特化した遊具を設置しては。
	「緑の基本計画」などの進捗可視化。過去に策定された計画の進捗が見えにくく、景観維持に関する行政の主体的な姿勢。
倒木や街路樹の剪定など、通報を受ける前に行政側で状況を把握・対応する主体的管理の徹底。	
道路が、でこぼこ、狭い、自転車道がない。	

項目	ご意見・ご要望
市政全般	フィックスマイストリート枠を広げてほしい。
	新たなインフラ整備でなく今ある物を活用すべき。
	空き家が目立つようになり、防犯や環境面での不安がある。
	路線バスの利用について、昼の時間帯に便数が少なく、利用しにくい。高齢になり、自動車を運転しなくなったものには、バスの利用しか交通手段がなく、また奈良市のように補助が無いと利用しづらい。生きいきクーポンをいただいているので、何ともいえないが。
	高校生が集える場がない。若者にとってよい生駒に。自然と若者を大事に。
	行政主催イベントの案内などの伝え方が下手（シンクタンクの設置）
	いこまちに年金の納付についてありますが、未納の時どうなるか。減額になるのでしっかり納めようといこまちなどに書いてほしい。
	公園でのグラウンドゴルフ利用について、予約は1カ月前のみ、インターネット予約は不可で窓口に行く必要がある。同様に、行政の手続きには窓口に行かないとできない手続きが多い。少なくとも3カ月～半年先までまとめて予約可能にオンライン手続きを拡充してほしい。
生駒南小学校・生駒南中学校 整備事業	予算がかさみ過ぎて大丈夫なのか。デザイン重視で学びの機能性は大丈夫か。地域の意見は反映されているのか。
	学校建設費の問題は大きい。多額の借金は大きな問題。建物にお金をかけるより中味に。教員に負担をかけないように。
	南小中学校教育内容にお金を使ってほしい（教室、教師、サポートスタッフ）
	大阪や東京での事件もあったが、セキュリティーの問題は大丈夫なのか。
	一体化になるようなコミュニティ機関に。
	車椅子の人は通れるのか。お金はかけたくないが、備品、物資、換気良く。トレーラーは入れるのか。水の確保はできるのか。
	エレベーターの吹き抜けでインフルエンザが蔓延した例が他である。窓は確保されてあるのか。対策は。
	南小中の保健室は小学生も中学生も一緒なのか。先生は1人か。先生が少しでもいなくなったとき、性被害の安全性の確保は大丈夫なのか。
ハードもだが、ソフトのコミュニティの関係は大事。中学校からの入学はできるのか。どのようなコミュニティになるのか。ねじれが生じることは大丈夫か心配。	

項目	ご意見・ご要望
生駒南小学校・生駒南中学校 整備事業	義務教育学校は時間割、部活、定期考査などがあり、小中同じフロアでいいのか。小中と一緒に1フロアで学ぶのは無理。子どもに我慢を強いることになり、教員の負担も心配。
	教師の負担、子どもたちの負担軽減のためボランティア含めサポートが必要。
	王寺町の義務教育学校の課題も調べてほしい。
	問題そのものを知らなかった。何のチャレンジなのか。
	特別教室は、授業時間の異なる中で小中とも支障なく使えるのか。時間割の調整が大変。
	学童保育と中学校部活動の時間が重なる。お互いに遠慮する学校生活にならないか。
	義務教育学校のメリットを教えてほしい。カリキュラムは同じ。
	安心、安全、子どもがのびのび楽しく過ごせる学校を作ってほしい。
市議会	市民懇談会は、テーマを決められると来る人が限られるのでは。
	市民に開かれた議会なら、市民懇談会を1年に1回でなく、議会終了後ごとにするのが議員の義務ではないですか。本当に市民の意見を聞こうとしてくださる思いがあるならもっと時間をかけてしてください。
	市民の声を受け止めて活動してほしい。
	議員が何を考えて賛成・反対しているのか分からない。
	一般質問でどんな風に質問しているのか。質問と答弁が擦り合わせ済みなのか。
	議会の後に報告している議員が少ない。
	議場の傍聴席のマイクが聞こえにくい。